

開催日時	開催場所
平成30年2月26日(月) 18時30分 ~ 20時30分	こども支援センターげんき5階研修室3
出席者・講師など	
居宅介護支援事業所27事業所 35名参加 あだちPOSネットワーク 20事業所参加	足立老人ケアセンター 作業療法士 羽生徹氏 かのん訪問看護ステーション 山口氏
次第	
1 部会長 挨拶 2 あだちPOSネットワーク 山之内代表 3 講義 4 グループワーク 5 事務連絡その他	
議事	
1. 部会長挨拶 ・3/20日開催予定の他職種連携研修(足立区医師会館)情報。今年度、他職種連携研修は5回開催された。 ・生活保護適正化にかかる生活安全課からのご指摘、障害サービスへの切替等がある中、部会としても情報をまとめ意見を上げている。来年度も協議会としてご利用者の不利益とならぬよう意見をあげていく。 ・4/17(火)開催予定の総会は、区役所2階ホール18:00~行う予定。 ・介護なびあだち(事業者連絡会)の更新時期にあたる。ホームページ上での更新手続きをお願いします。	
2. POSネットワーク代表 山之内氏挨拶 ・ケアマネジャーとセラピストがともに話し合い、勉強する機会も少ない為良い機会としていきたい。	
3. 居宅介護支援部会・POSネット合同勉強会 次第の確認・講師紹介 テーマ:「生活の質を高める為の方法をセラピストと一緒に考える」 講義:ご利用者の生活を考えた支援 足立老人ケアセンター 羽生氏 講師が実際に2年間かわり、ご他界されている実事例。終末期に対するリハビリという観点も踏まえ、人は意欲で変わるという支援経過、そして最後に支援者も心を動かされ救われていった。	
4. グループワーク 事例提供(症例1、症例2):かのん訪問看護ステーション 山口氏より症例の説明 司会者よりワークの進行方法、目的、タイムスケジュールの説明 13グループ(ブロック別、5~7名)に別れ、指定された症例を、ケアマネ、セラピストに別れ短期・長期目標を検討。(20分)、その後合同で25分目標について話し合う。職種の違いによる考え方の違いをり、より良い支援方法に繋げていくことをワークの目的としている。(25分) ワークの発表:ほぼ全グループ発表。発表の内容から下記に一部を抜粋 ・本人の意欲の程度が見えないところでのワークの中で、ケアマネは人物像にこだわり気持ちが曲がっていたがセラピストの視点はピュアで意欲の向上を可能とする方法を検討していた。目からうろこだった。 ・各制度、生活暦、性格を上手に活かし意欲をあげていくことを活用できればと認識した。 ・目標設定について、ケアマネは居間の生活や今後のサービスの広がり考えたが、セラピストは店番や食事など以前の暮らしから考えることがわかった。 ・行動範囲の拡大や体重コントロール、住環境の改善等、具体的な課題をあげ検討できた。 ・症例から受けるご本人の印象の違いはあったが本人・家族のニーズを理解するところから話し合った。 ・ケアマネは趣味を生かせる支援を考え、セラピストは将来的にADLの低下することを踏まえて考えていた。 ・短期、長期の目標作成には届かなかったが、違う視点から見ることや他職種が連携することの大切さをあらためて考えることが出来た。	
講評:柳原リハビリテーション病院 萩原氏 ケアマネさんは今の生活の改善、セラピストは受傷前の生活に戻すためにはどうすれば良いかを考える。二つの視点で関わること、合せることでよい生活に繋げていけるのだと感じた。病院では出来ない、家族の繋がりや役割を知った上で関われる。医師からリハ導入の具体的な指示が出ることはまだまだ少ないのでケアマネさんからもリハビリの提案を医師にして欲しい。今日は良い機会を得られたと思います。	
5. 事務連絡 3月居宅支援部会 同会場にて3/26(月)18:00~20:00 診療報酬・介護報酬の同時改定概要について、足立区介護保険課、皆葉課長にお願いし開催予定。	